



明けましておめでとうござ  
います。

皆様には、健やかに新春  
をお迎えのこととお喜び申し  
上げます。

今年は、干支順位表六十  
番中四十番目にあたる癸卯  
(みずのと)で、卯(うさぎ)  
はピンピン飛び跳ねること  
から「跳躍」を象徴するもの  
として、これまでコツコツと努  
力したことが実を結び勢いよ  
く飛躍する歳であると言われ  
ております。

兎は、昔話や民話にもよく  
でてくる動物で「うさぎとか  
め」や「ウサギの名誉挽回」  
「月に行つたうさぎ」があり、  
特になぜ「兎はお月様に行つ  
て餅を搗いているのか」など、  
ちよつと民話の世界に想いを

## 夕鶴の里資料館報

令和5年1月10日

第 145号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800

馳せてみるのも一考かと思い  
ます。

さて、夕鶴の里も平成五  
年四月二十五日に全館オー  
プン以来、本年度で満三十年の  
節目の年を迎えることになり、  
これまで既に四十万人を超  
える入館者となっております  
が、資料館では養蚕や練糸、  
製糸業に係る地域の歴史を  
知ることが出来ずし、語り  
部の館では、昔話や民話を通  
じて地域の伝統文化を学び  
ながら情操豊かな心を育む  
ことができる施設となつてお  
ります。

先人が残してくれた貴重  
な昔話や民話には、人として  
の心構えや事の善悪・癒しや  
生活の知恵、更には倫理観の  
醸成など計り知れない程の  
奥深さがありますし、まだま

だ解き明かされていない未知  
の世界が数多くあり、それら  
を一つ一つ掘り起こしながら  
新たな感動を呼び起こすもの  
にしていく必要があると思っ  
ております。予約なしで、お  
一人で来られて民話、昔話が  
聞ける施設は全国広しと雖  
もここ夕鶴の里だけだと自負  
しております。

地域の歴史や伝統文化を  
伝承していくということは極  
めて大切なことであり、地域  
おこしの役割を担うことにも  
なると再認識し、一步一步  
前進するよう取り組んでまい  
りたいと存じますので、これま  
でと同様にご指導ご支援賜  
りますようお願い申し上げます。  
年のご挨拶といたします。

夕鶴の里

館長 高橋大吉



### 企画展

#### 「近代のお食事展」開催中

企画展「近代のお食事展」  
は一月二十八日(土)まで開催  
しております。

日本の近代化により、食  
事も海外の調味料や調理道  
具、食材が手に入り食事も  
少しずつ近代化されていきま  
した。とはいえ、庶民の食事は  
江戸時代後期から大正時代  
までの百年間は大きな変化は  
みられませんでした。

そんな中、製糸業で漆山  
地区の近代化に貢献した多  
勢丸上家の婚礼や新家祝いの  
献立には当時の庶民が口  
にすることができないような  
料理の数々が記録されていま  
した。展示期間は残りわずか  
ですが、是非ご来館いただけ  
ればと思います。



## 今年はおうさぎ年

ものの流行は古今東西どのようなものが流行るのか全く見当が付きません。そして、流行が終わった後、あつという間に流行り物は消えてしまいます。近年でもタピオカやマリトッツォが流行りましたが、現在は店頭で見ることはいまありません。

明治五年の『日要新聞』に「去年より兎流行して価月々に沸騰せり」という記事が見られます。どうやら明治時代に兎を飼うことが流行したようです。そして、珍しい兎は高値で取引され優劣を競う会が各地で開催されました。記事には「両耳の毛黄色に変わりたる兎を六百円に売りました」と続けて書かれています。明治時代の公務員の初任給が八〜九円、銀座の土地一坪が五円の時代ですから相当な大金ということがわかります。

あまりに異常な流行に行政当局も取締りに乗りだし、明治六年東京府では兎一羽に毎月一円の税金をかけること

とにしました。そしてもし、無届の場合は過怠金として月二円が課せられました。また、兎の市や競売を禁止しました。するとあつという間に流行は下火になり、兎は見向きもされなくなりました。

今年一年どのようなものが流行るのかわかりませんが、流行はあつという間に下火になるということをお忘れなく。〈参考文献〉

『図説 明治事物起源事典』



夕鶴のひな飾り展ではうさぎの飾りを多数展示予定です。是非ご覧ください。

### ◆次回展示◆

## 夕鶴のひな飾り展

令和五年二月一日(水)〜

五月七日(日)

(会場)

夕鶴の里資料館

三階特別展コーナー

今年も三人の製作者による夕鶴の里のひな飾り展が始まります。

今年で三回目となりますが、毎年レイアウトを変え趣向を凝らした展示となっております。ご来館いただいたお客様の中には高島町の道の駅たかはた、結城豊太郎記念館をはじめごされる方もおり、寒い季節ではありますが、おきたまひな回廊を楽しまれてはいかがでしょうか。



### 昔のあそび

## 折り紙でひな飾りを作ろう！

日にち：1月21日(土)

時間：10時〜

場所：夕鶴の里

参加費：100円

定員：10名(要予約)

問合せ：夕鶴の里 47-5800

※定員になり次第受付を終了します。

☆マスクの着用をお願いします。

## 無断駐車はご遠慮ください。

夕鶴の里駐車場への無断駐車は除雪の妨げになりますので、ご遠慮くださいますようお願いいたします。やむを得ず駐車する場合は必ずご連絡下さい。

TEL 47-5800